



針尾っ子だより

佐世保市立針尾小学校

No.13 R5.6.1

一人一人が輝く学校をめざして

文責 校長 前川 直樹

いのちを見つめる強調月間【6月】

6月1日は、「いのちを見つめる日」です。今から19年前（平成16年）のこの日に、悲しい出来事がありました。私たちはいのちの大切さをこれまでも、そしてこれからも子どもたちに伝え続けなければなりません。そこで、本日、子どもたちに以下のような話をしました。

今日、6月1日は、佐世保市では、いのちを見つめる日と名付けて、みんなでいのちの大切さについて考える日としています。

ここに、1枚の写真があります。みんながよく知っている、校門のところにある桜の写真です。この桜にも、いのちは？（子どもの声「ある！」）そう、もちろん植物にもいのちがありますね。アサガオや野菜などに水をあげて、いのちを守ってくれているお友達が、針尾小学校にはたくさんいて、とてもうれしいです。



（写真に写っている）桜の花、きれいですね。そして、花だけでなく、枝があります。写真にはないけど、この下には、幹があります。その下には、根っこがあることを皆さんは知っていますか。そこで、相田みつをさんという人は、次のような詩を書いています。

**花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はみえねんだなあ**

花は枝がなければ咲きません。幹が腐ってしまえば、枝も花も枯れてしまいます。そして、その幹を支えているのが根っこです。

皆さん一人一人が、きれいな花だとします。元気で、毎日明るく楽しく生活しています。立派な花が咲いています。では、そんな皆さんを支えてくれている人たちはどんな人たちですか。（子どもの声「家族」「先生」「地域の人」・・・家族が圧倒的に多かったです。）

他にも、管理員さん、給食を作ってください方、習い事や社会体育の先生（指導者）、病院の先生、警察官、消防士の方など、たくさんの人に支えられています。

たくさんの人に、そして、みんなの見えないところや気づかないところでも、支えてくれている人がいるということに気づいてほしくて、相田みつをさんは、最後を「みえねんだなあ」と書いたのかもしれない。（始めに、「みえねん」を（ ）で隠して考えさせました。6年生から、「立派」「ヒーロー」「みんなを支えている」など、素敵な答えが出てきました。）

いろんなところで、たくさんの人に支えられている皆さんのいのちは、皆さんだけのものではありません。家族、地域の人、先生たち、みんなのとっても大切な宝物です。だから、今日、校長先生と約束をしてほしいんです。それは、いのちを守る・大切にすることです。自分のいのち、友達や周りの人のいのち、植物や動物のいのち、全部のいのちです。約束してくれますか。（子どもの声「はい！」）いのちを大切にできる人は、心が美しく、とても優しい人です。これからも、絶対に友達に嫌なことを言ったり、したりしないでください。友達と仲良く生活してくださいね。笑顔あふれる針尾小学校にしていきましょう。約束してくれて、ありがとう！

これからも「おもしろ子」の育成に力を注いでいきます。授業参観では、道徳の授業を行いますので、ぜひご参観いただければと思います。【12日（月）3・6年 13日（火）1・4年 16日（金）2・5年】

なお、12日（月）～16日（金）は、学校公開週間となっていますので、多くの方のご来校をお待ちしております。温かいご支援をいただきながら、学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちのかけがえのない「いのち」を守っていく所存です。何卒、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。